

## ヤマトに配送・設置委託 ダイワ通信 園児置き去り防止装置

2023/4/20付 | 日本経済新聞 地域経済

ダイワ通信は19日、保育所や幼稚園の送迎用バス向け置き去り防止の安全装置に関連し、ヤマト運輸と業務委託契約を結んだ。ヤマト運輸が全国への配送、同じグループのヤマトオートワークスが保育所などでの訪問取り付けをそれぞれ担当する。送迎バスには安全装置の設置が義務付けられており、販路拡大につなげる。

ダイワ通信の装置は顔認証端末を活用したシステム。バス内の最後部に端末を設置し、エンジンが切れると警報音が鳴り出す。あらかじめ登録した運転手が顔をかざすと、音が鳴りやむ仕組みだ。園児らが勝手に音を止めることができないため、置き去り防止につながる。

ダイワ通信はヤマト運輸のネットワークを活用し、装置の拡販につなげる。送迎バスを整備工場に持ち込むことなく、保育所などの空き時間に取り付け工事をしてもらう。今後、5000台以上の販売を目指している。

ヤマト運輸は石川県を担当する金沢主管支店が、同じ同県内に本社を置くダイワ通信の安全装置に着目。今回の業務委託契約につながったという。

本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は、日本経済新聞社またはその情報提供者に帰属します。また、本サービスに掲載の記事・写真等の無断複製・転載を禁じます。

Nikkei Inc. No reproduction without permission.